

新型コロナウイルス感染症の 後遺症について

2023年5月1日

1 新型コロナウイルス感染症の後遺症とは

新型コロナウイルスに感染した方の中に、治療や療養が終了した後も、症状が長引く方や、新たに、または再び症状が出現して持続する方がおられます。現時点で、原因など不明な点が多く、「後遺症」と呼ばれています。

2 後遺症の主な症状について

後遺症の主な症状として、疲労感や倦怠感、息苦しさ、嗅覚・味覚障害、睡眠障害、思考力や集中力の低下などが報告されています。

また、広島県の調査では、県内の感染者954人の34%が、後遺症を感じており、そのうちの38%が、社会生活への影響があると回答しています。

疲労感や倦怠感



咳



息苦しさ



嗅覚障害や味覚障害



3 広島市内での対応医療機関について

新型コロナウイルス感染症の後遺症が疑われる場合は、かかりつけ医または「新型コロナ罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関一覧」にある医療機関にご相談ください。



各医療機関は対応する診療科目が限定されている場合や、予約制の場合もありますので、まずはお問合せの上、受診してください。また、後遺症の治療は対症療法が中心となり、受診や治療の際は医療費が必要となります。

各区保健センター 連絡先

中区	☎ 082-504-2528
東区	☎ 082-568-7729
南区	☎ 082-250-4108
西区	☎ 082-294-6235

安佐南区	☎ 082-831-4942
安佐北区	☎ 082-819-0586
安芸区	☎ 082-821-2809
佐伯区	☎ 082-943-9731